



# 大阪医学統計学セミナー 第16回

Osaka Biostatistics Seminar

2月13日 (水)  
18:00~20:00



**場所：**  
**医学系研究科基礎研究棟L階**  
**医学統計学研究室**

## 放射線疫学研究における 測定誤差の影響とその補正

講演者：三角 宗近(放射線影響研究所統計部)

概要：

観察研究において、対象者の危険因子への曝露量が正確に測定できないことはよくあり、測定誤差を含む説明変数を用いることで、回帰分析の結果得られるリスク推定値にバイアスをもたらしたり、推定の効率が低下したり、リスクの量反応関係を歪め得ることは広く知られている。放射線疫学では、そのリスク解析のキーとなる被曝放射線量を主に対象者から得た情報もとに推定した値を用いるため、測定誤差の影響を考慮したリスク解析が不可欠である。また、測定誤差の種類として一般的なランダムな誤差以外に、線量推定の方法に起因した誤差の存在も知られている。本講演では、放射線疫学研究から提案された測定誤差の影響を補正する方法を紹介する。

お問い合わせ：大阪大学大学院医学系研究科 医学統計学講座  
E-Mail : [office@biostat.med.osaka-u.ac.jp](mailto:office@biostat.med.osaka-u.ac.jp) TEL : 06-6879-3301